

今週のメニュー

■トピックス1

◇第23回中央区 子どもとためす環境まつりに出展～中央区立有馬小学校～

■トピックス2

◇SNSタイアップ広報・第八弾

～「新鮮だと逃げちゃうんじゃない？」

スーパーの魚を見て息子が抱いた疑問に母親が・・・～

■トピックス1

◇第23回中央区 子どもとためす環境まつりに出展～中央区立有馬小学校～

9月26日（土）、中央区環境保全ネットワークが主催する体験型環境イベント『第23回 子どもとためす環境まつり』が、東京都中央区立有馬小学校で開催されました。当日は会場全体で330名が来場され、塩ビ工業・環境協会は、たこ焼き器を使ったオリジナル消しゴム作り教室を行いました。

『子どもとためす環境まつり』は「中央区の区民と企業、行政が連携して環境保全に取り組み、より良い地球環境を次世代に残す」という目的の下、中央区環境保全ネットワークにより立ち上げられました（2002年）。以来、体験型の環境イベントとして、中央区内の小学校で毎年開催され、今年で23回目の開催となります。参加する企業・団体は21団体、小学校10校。VECは環境学習の応援として、2009年から毎年参加しています。



消しゴムづくりの様子

VECのブースでは、昨年も好評を博した消しゴム作りを9回、100名以上の子供や大人に体験して頂きました。消しゴムの原料（ペースト塩ビゾル）6色を全部使ったたこ焼き機の穴に少しずつ何度も入れる子も。約40分後、半円型の世界に1つだけの消しゴムの出来上がり。取り出すと驚きの表情を浮かべ、子供達からは「すごい！」「あったかい！」など歓声があがりました。

一方、展示コーナーでは、身の周りの様々な塩ビ製品を展示（食品サンプル、ウィッグ、縄跳び、壁紙など）。実際に手に取って頂きながら、塩ビの約 60%が塩から作られていることや身近な塩ビ製品について説明し、軟質塩ビの小物入れ、パンフレットをお渡ししました。プラスチックの重さ比べコーナーでは汎用プラスチックの成型品（5 種類、同じ容積の塊）を重さの順に並べ替えて、重さの違い（比重差）によって実際にリサイクルが行われていることを説明。見事並べ替えに正解した方には、3 種類の硬質塩ビの動物クラフトをプレゼントしました。



塩ビ製品展示コーナーの様子

昨年に続き今年もあいにくの雨模様でしたが、多くの方に訪れて頂きました。途中にはサーモンプロジェクト※の子供たちが訪れ、VECのブース内容と塩ビについて取材をされ、消しゴムづくりも体験して頂きました。その後訪れたサーモンのブースでは、早速ブース体験取材レポートが掲示され、消しゴム作りだけでなく「塩ビの約 60%が塩からできていることをはじめて知りました」としっかりと塩ビについて学んでもらえたことが分かり、嬉しく思いました。



取材の様子

今回、ご紹介した『子どもとためす環境まつり』は様々な分野・ブースで地球の環境保全について体験しながら学んでもらうイベントです。子供たちのみならず環境を大切にする思い、そして、自分に何ができるのかを改めて問い直す良い機会を提供するこの活動が益々拡大していくことを祈念しております。

なお、中央区環境保全ネットワークは長年にわたる活動が評価され、来る 11 月 3 日（文化の日）に『中央区功労賞』を受賞されるそうです。

実行委員会の方々、有馬小学校の関係者の方々の努力で今年も無事に終わることが出来ました。皆さまに感謝致しますと共に、今後も VEC として積極的に参加し、活動を応援していきたいと思います。

※ 成長した鮭（サーモン）が生まれ育った川に戻ってくるように、中央区で育った子供がいろいろな経験を通して成長し、大人になって中央区に戻り、活躍してほしい、中央区を活性化してほしいという願いが込められたプロジェクトとのこと（主催：中央区環境保全ネットワーク）。
（鶴見）

■トピックス2

◇SNSタイアップ広報・第八弾

～「新鮮だと逃げちゃうんじゃない？」

スーパーの魚を見て息子が抱いた疑問に母親が・・・～

世間一般の方々に塩ビへの理解を深めていただくことを目的に、当協会では3年前からSNSタイアップによる広報活動を実施しています。今年度は、第7弾となる「キッチンの下にある『見慣れた管』の意外な実力」（6月30日公開）が、公開後2週間で約33.2万人に閲覧されるなど、大きな反響をいただきました。このたび、9月30日に第8弾となるSNSタイアップ広報を公開しましたので、ご紹介いたします。今回のテーマは「塩ビと食品ラップ」です。

普段何気なく使っている食品ラップですが、実は原料となる樹脂の種類によって特徴が異なることをご存じでしょうか。食品ラップは一般的に、塩ビ（ポリ塩化ビニル）製、ポリ塩化ビニリデン製、ポリオレフィン製の3種類に大別され、それぞれの特性を生かして用途に応じた使い分けがされています。主として塩ビ製ラップは業務用として、ポリ塩化ビニリデン製ラップは家庭用として広く利用されています。

食品ラップは単に食品を包むためのフィルムではありません。食品の鮮度を保ち、衛生的に管理すると共に、商品の見栄えを良くしたり、流通や販売を支える役割を担っています。特にスーパーの鮮魚や精肉売り場では、ラップの優れた密着性と透明性が活躍しており、食品を美しく安全に消費者へ届けることに貢献しています。

今回の記事では、こうした食品ラップの中でも、業務用として広く使用されている塩ビ製ラップに焦点を当て、その特徴や機能について紹介します。

スーパーの鮮魚コーナーで魚がぴったりとラップに包まれている理由を、不思議に思ったことはありませんか。実は、その秘密のひとつが「塩ビ」にあります。塩ビ製ラップは自己粘着性に優れており、食品トレイの微細な凹凸表面にもよく密着して、隙間なく鮮魚や精肉などを包むことができます。

また、酸素を適度に通しながら水蒸気は通さな



い（食品の乾燥を防ぐ性質）ため、野菜やキノコ類の鮮度保持にも効果を発揮しているとか。さらに透明性が高いため、食材を美しく見せられるのも大きな特長です。あと、スーパーでの包装作業の効率化にも寄与しているとか・・・。

塩ビは食品用ラップだけでなく、水道管や排水管などのインフラにも使われており、私たちの暮らしをさまざまな場面で支える身近な素材です。漫画では、子どもの素朴な疑問を通じて、そんな塩ビの意外な役割や魅力がわかりやすく紹介されています。

詳細は下記 URL よりご覧ください。

URL <https://grapee.jp/2318767>

（横山）

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <https://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp
